

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公表番号】特表2008-505277(P2008-505277A)

【公表日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2007-519471(P2007-519471)

【国際特許分類】

F 04 B 39/00 (2006.01)

F 16 C 32/06 (2006.01)

F 16 C 17/02 (2006.01)

【F I】

F 04 B 39/00 103 Q

F 16 C 32/06 Z

F 16 C 17/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月20日(2008.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回転する圧縮機を担持する圧縮機シャフトの振動を軽減するための軸受装置であって、前記シャフトを支持するための第1の軸受と、前記シャフトに加わるモーメントおよび振動方向に対抗する付加減衰を発生させるための、前記第1の軸受からアウトボード側に離間する第2の軸受とを備え；

前記第1および第2の軸受は、流体静圧軸受または流体動圧軸受である；
軸受装置。

【請求項2】

回転する圧縮機を担持する圧縮機シャフトの振動を軽減するためのアウトボード側の軸受装置であって、前記回転する圧縮機の各端部で前記シャフトを支持するための一対の第1の軸受と、前記シャフトに加わるモーメントおよび振動方向に対抗する付加減衰を発生させるための、前記第1の軸受からアウトボード側に離間する一対の第2の軸受とを備え；

前記第1および第2の軸受は、流体静圧軸受または流体動圧軸受である；
軸受装置。

【請求項3】

前記第2の軸受は、前記第1の軸受の芯出しをした後に調節可能である；
請求項1または請求項2に記載の軸受装置。